

# ニュース防災 12号

発行：興野町住宅自治会 責任者：会長 \_\_\_\_\_ / 2016年6月10日

## 第5回 東京防災隣組認定式

去る4月17日災害対策部5名が東京都庁で行われた東京防災隣組認証式に出席して、前田東京都副知事より認定書をいただいて参りました。

(式次第) 1. 認定式授与式 認定書の授与

2. 認証団体の事例発表

(1) グランドメゾン杉並シーズン管理組合防災会

大規模マンション独自のフロア組織全住民が防災の担い手に  
～多世代参加で進化するコミュニティ防災～

(2) 国分寺市西町友和会

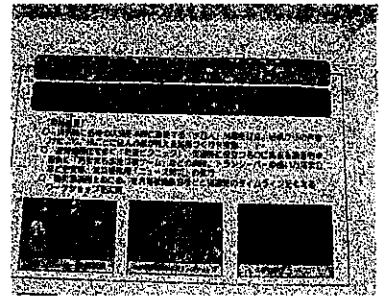
市境における近隣自治会等との連携した取組み

3. 講演「東京防災隣組とスマート防災」 講師：山村 武彦(防災システム研究所)

(感想) ・講演の講師からは、一般的な防災訓練ではなく、生きるための訓練をしてほしいと言う話に共感し、改めて災害対策部の基本的な考え方にしよう確認しました。

・大型マンションの活動事例報告は、働き盛りの年代が中心に行われていて、防災まちづくりに発展していることに共感しました。

・大型マンションの8棟毎に、防災スタッフや防災委員の配置等、当住宅が目指している世話人制度と重なる部分もあり、災害対策部の方向性は間違っていないと感じました。



### 2016年度事業計画

6月	<p>トランシーバー講習会 誰もがトランシーバーの扱いに慣れるために行います。 夜間内部発電機講習会 先ずは災害対策部(世話人さん含む)が、発電機の使い方を覚えるために行います。</p>
7月	<p>担架搬送講習会と消火器講習会 縦階段を使った担架搬送と、消火器の使い方を体験します。</p>
10月	<p>応急救護講習会 ケガなどの時に家にあるもので出来る応急救護の体験をします。</p>
1月	<p>普通救命講習の出前講習会 集会所で災害対策部(世話人さん含む)の普通救命講習会を行います。</p>
2月	<p>台所防災講習会 水や火が少ない時でも、家にある食品で出来る防災食の講習会を行います。</p>

- その他
- ・周辺地域との連携(興野北町会やクリスマス・ヴィレッジ)
  - ・世話人募集
  - ・防災ニュース
  - ・東京防災隣組への協力

### トランシーバー講習会

昨年初めてトランシーバーの体験講習会を行いました。今年は消防署の指導で行います。

まずは、さわって慣れることです。ご興味のある方は是非ご参加ください。

日時 6月19日(「日」) 10:00~12:00

場所 中央公園 集合 ※小雨決行

対象 興野町住宅自治会 会員

指導 西新井消防署

私でも出来るかしら?



面白そう…!!

迷っているあなたへ

みんな初めて  
みたいなものです  
から

話し方や  
セリフを用意して  
いますよ

## 備えよう!!



### また「水」のこと

災害対策部

また水このことを書きます。熊本の大地震ですが、水の国の熊本で水が足りないとは・・・？普段の備えがなかったのでしょうか。飲み水が・・・です。手洗いをする水はなおさらなかったようで、ノロウィルスに感染した人が出たようです。大地震が真夏に起きたら、伝染病の蔓延は想像できませんが、その他どのような病気が蔓延するのでしょうか想像できません。

何回も書きますが、水の備蓄は絶対に必要です。私の考えは、一人の大人が必要な水(食事に含まれている水分を合わせて)の量は、一日3リットルと言われておりますが、それは10日分で200ccのペットボトルにして15本になります。大変な量です。ぜひ備蓄してください。しかし、いろいろ工夫してください。例えば20リットル入りのポリタンクにすれば、二人暮らしの家庭ではタンク3本で可能になります。また、季節によって水の入れ替え期間は長短がありますので、寒い季節は比較的長い間入れ替えの必要がありませんね。ですから、こまめに水を替えればよいと思います。工夫してください。その他に手洗いの水も必要なのです。

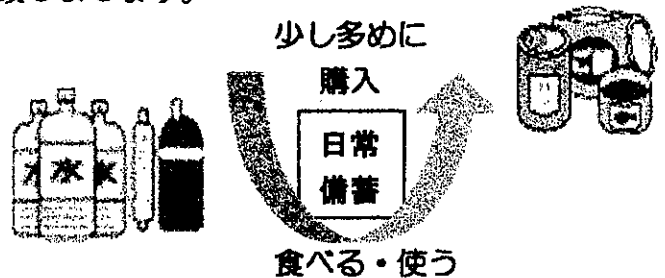
そう書きましたが、朗報と思われることがあります。それは当興野町住宅では、給水塔と受水槽を使っただけの給水システムだからです。給水塔と受水槽があると言うことは、大地震が起きてもその被害の程度によりますが、給水塔の容量は40トン、受水槽の容量は200トンですので、10%の水が残っても24トンにもなります。ペットボトル(2リットル入り)で12,000本にもなります。もし水が残りましたら、公平に分配しなければなりません。当住宅の性格上、近隣の方々も避難してくると思いますが、その方々にも分配する必要があります。

また、水を無断で持っていく人も出てくると思われま。それは守らなければなりません。老人ばかりの住民ですから、大変だと思ひます。もう一度言ひます。水は大事です。

東京都の冊子「東京防災」から

日常備蓄を進めましょう!

各ご家庭に配布された「東京防災」(黄色い冊子)では、これまでは、乾パンやヘッドライトなど普段使わないものを用意する特別な準備と考えられていましたが、首都圏直下型地震などの被害想定によると、災害発生後に自宅の倒壊などを免れた多くの人は、自宅でも生活を継続するためにも、日頃から利用している食品や生活必需品を少し多めに購入しておく「日常備蓄」と古いものから順に消費していく「ローリングストック」を実践しましょう。



被災地を経験して重要だったものは・・・

- ①水 ②簡易トイレ ③手回し充電式ラジオ
- ④カセットコンロ・ガスボンベ ⑤懐中電灯
- ⑥ビニール袋 ⑦常備薬 ⑧乾電池
- ⑨食品包装用ラップ

高齢者や乳幼児がいる家庭では、おむつや常備薬等、生活するうえで必要不可欠なものは日頃から多めに備えましょう。病気の方、療養食が必要な方、アレルギー体質の方についても同様です。

ひとり暮らしの備蓄には・・・

コンビニ利用が多いひとり暮らしの人は、冷蔵庫に1週間分の食料品はないでしょう。そんな時にはカップ麺や、レトルト食品等いつもより多めに買い置きしておけばいいのです。

### —— 編集後記 ——



いよいよ梅雨の季節になりましたね。憂鬱な季節と思う方も、晴れ間を見つけて散歩に出かけてはいかがでしょうか。昔から江北地域は、花卉栽培が盛んだったこともあり、扇中学校近くには、菊作りで区長賞を受賞している名人がいらっしやいます。また高野駅近くには都会には珍しく蓮池があります。先日通った際には、ウシガエルの大きな声が聞こえました。雨を呼んでいるのでしょうか・・・

(M・M)